

生産性向上人材育成支援センターにおける中小企業等の人材育成を支援する取組

人手不足の深刻化や技術革新の進展の中で、中小企業等が事業展開を図るためには、従業員を育成するとともに、企業が生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが必要となっています。

当機構では、全国で運営するポリテクセンター等に「生産性向上人材育成支援センター」を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた「人材育成プラン」の提案、職業訓練の実施まで、中小企業等の人材育成に必要な支援を一貫して行っています。

支援の流れ

1. 人材育成に関する相談

担当者が企業を訪問して人材育成に関する課題や方策等を整理

2. 人材育成プランの提案

課題等に合わせて以下のメニューの中から最適なプランを提案

3. 職業訓練の実施

企業の人材育成プランに応じて職業訓練の実施や指導員を派遣

人材開発支援助成金の対象になります。詳しくは、厚生労働省ホームページから確認ください。

高度な技能・技術の習得を支援 (在職者訓練)

「技能・技術などの向上」や「新たな製品づくり」といった企業の生産現場が抱える課題解決のために、“ものづくり分野”を中心に、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの実習を中心とした高度な訓練コースを体系的に実施しています。

- 訓練日数
概ね2～5日（12～30時間）
- 受講料（1人あたり）
8,500～23,000円程度（税別）

○主な訓練分野

- 【機械系】
 - ・機械設計のための総合力学・空気圧実践技術
 - ・NC旋盤プログラミング技術
 - ・その他・汎用機械、機械検査、生産管理

【電気系】

- ・有接点シーケンス制御の実践技術
- ・PLC制御の回路技術
- ・PLCによるFAセンサ活用技術
- ・PLCによるタッチパネル活用技術

【居住系】

- ・冷媒配管の施工と空調機器据付け技術
- ・トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術



生産性向上に必要な知識等の習得を支援 (生産性向上支援訓練)

中小企業等の生産性向上に必要な知識等を習得するために、あらゆる産業分野で必要とされる“生産管理、IoT、クラウドの活用”などのカリキュラムを、利用企業の課題に合わせてカスタマイズし、専門的な知見やノウハウを有する民間機関等を活用して実施しています。

- 訓練日数
概ね1～5日（6～30時間）
- 受講料（1人あたり）
3,000円～6,000円（税別）

○主な訓練分野

- 【生産・業務プロセスの改善】
 - ・生産管理
 - ・品質管理
 - ・流通・物流
- ・IoT活用によるビジネス展開
- ・クラウド活用入門
- 【横断的課題】
 - ・組織マネジメント
 - 【売上げ増加】
 - ・マーケティング



IT理解・活用力の習得を支援 (IT活用力セミナー)

IT技術の進展に対応するために必要な“IT新技術の理解、表計算等のITスキル、情報セキュリティ”など、“IT理解・活用力”を習得するための訓練コースを、専門的な知見やノウハウを有する民間機関等を活用して実施します。

- 訓練日数
概ね0.5～3日（3～18時間）
- 受講料（1人あたり）
2,000円～5,000円（税別）

○主な訓練分野

- 【IT理解】
 - ・新技術動向
 - ・業務のIT化 等
- 【ITスキル・活用】
 - ・表計算
 - ・データベース
 - ・ホームページ 等
- 【IT倫理】
 - ・情報セキュリティ
 - ・コンプライアンス



職業訓練指導員の派遣 施設・設備の貸出

「研修したいが講師がない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクニインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の機構施設・設備（会議室、実習場及び訓練用設備・機器）の貸出しを行っています。



J E E Dホームページ
生産性センターの支援メニューを紹介しています。